

商工会報

第5号

あち

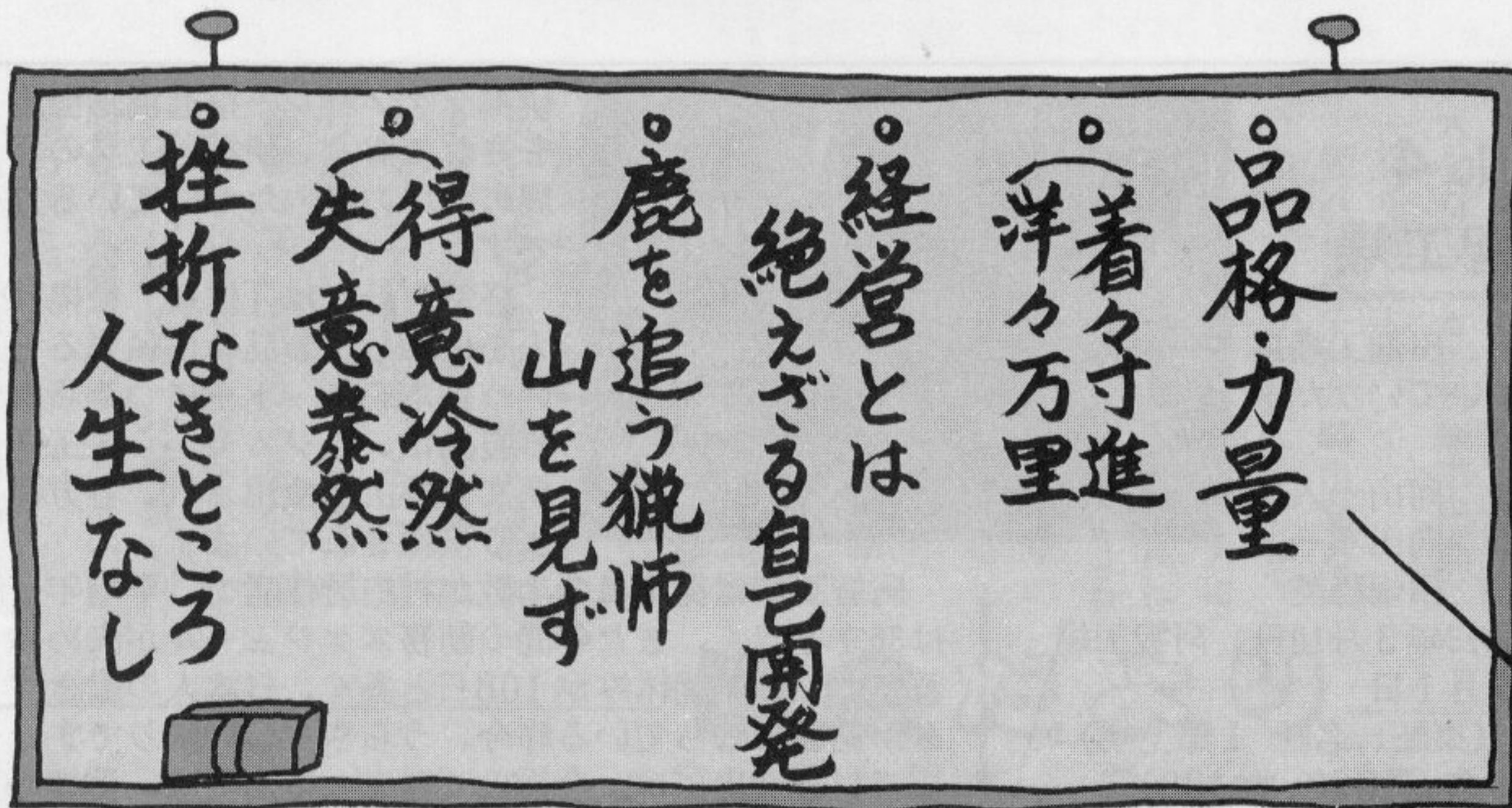
発行 阿智村商工会
43-2241
編集 会報編集委員会
印刷 龍共印刷(株)



《講師の北出清五郎氏》

経営とは絶えざる自己開発

恒例の新春講演会が去る一月八日に開催されました。
今年にはNHK大相撲解説アナウンサーの北出清五郎氏をお招きして「寅年に賭ける経営と勝負の世界」と題して講演をお願いしました。



講師の黒板に書いた語録

※商工会では、毎年何回か講演会・講習会を行なっておりますので、ご自由にご参加下さい。

我が村に インターが!

当村は元より、西部五ヶ村の悲願であった園原インター設置が、国土開発幹線自動車道建設審議会の審議により、一月二十一日決定いたしました。

インター自体は、名古屋方面のハイフインターとなりませんが、このインター設置により昼神温泉や治部坂スキー場、平谷スキー場等の観光客誘致

に拍車をかけ、農業・林業の一次産業は、中京・京阪神への大市場へ介入し、商品作物への転換や市場選択が可能となりましょう。

また、中京圏の企業を誘致する事により、就業機会を増大させ若者の定着も考えられそうです。

いずれにしても、インターの効果を最大限に発揮するために、我が村や近隣村の受け入れ体制や地域整備が必要ですが、この地域が潤うよう期待したいものです。

街路灯設置研究委員会の 経過について

街の美化と明るい街づくりそれから防犯・交通安全のために、阿智村に街路灯がつけましたのは昭和四十七年であります。

会地・伍和の商店街を中心として、一三〇灯が設置され大変喜ばれて参りました。

しかし、近年この街路灯も老朽化して故障が多く、柱の腐蝕も目立ってきましたのでこの対策について、役員会で協議の結果、研究委員をあげて専門研究をする事となりました。

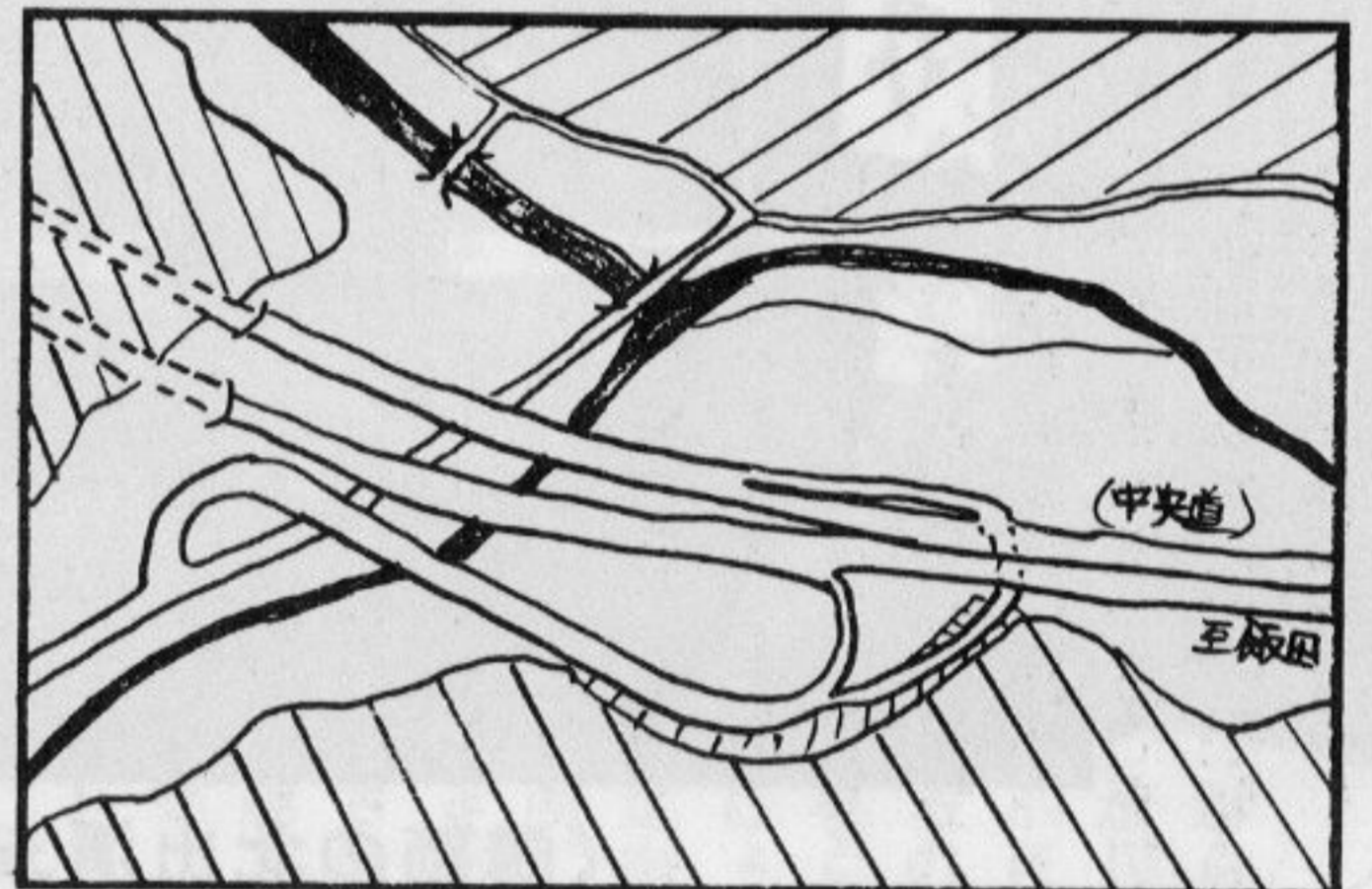
昨年十月に委員会を発足させて、委員には、正副会長、

各事業部長、各支部長、商業部員をもって組織され、数回にわたり会議を開く一方、代表者による先進地視察も実施いたしました。

また、地元住民の声を聞くことが大切であることから、アンケートの実施を昨年行ない、結果は、関心が低いのか回収率三十一%と低いものでした。

内容については、

- 一、設置を希望する 64%
- 条件として、自分の店の前につける事、店名を入れる事、負担金は五万円以内
- 二、設置を希望しない 36%



園原インター概略想像図

理由として、現在灯が充分使用可能、後継者がいないと、結果が出ました。

これを参考に協議した結果自己負担金が十万元以上かかる事や、店名を入れたり、店舗前の設置により、補助金の削減や商店街の美観の問題、また、希望しない方達の対応等、さまざまな問題がありまので、早急に計画するのでなく今後充分に検討協議していく事となりました。

いづれにしても早い時期に新設が出来るように、個々の資金づくり等を行なって、明るい商店街形成が出来るようご協力をお願いします。

企業探訪

No. 4

興亜電工(株)阿智工場

1月下旬、お忙しいところ、田畑工場長さんと、田中さんに時間をさいていただきお話を伺いました。

〈代表者〉 取締役会長 向山一人
取締役社長 向山孝一
阿智工場長 田畑勝美

〈創立〉 本社 昭和15年3月10日、阿智工場 昭和44年9月1日

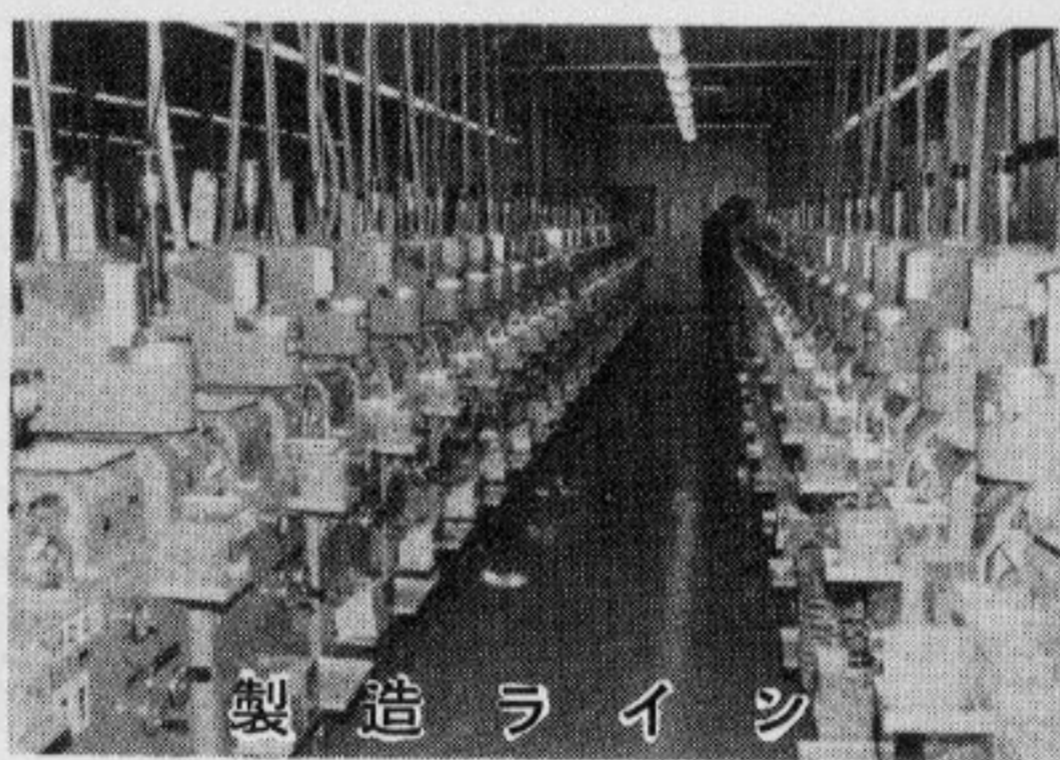
〈資本金〉 45,9億円(東証、名証 1部上場)

〈従業員〉 全体1,200名(男800、女400)
阿智工場113名(男91、女22)

〈主な製造品〉 産業用、民生用各種抵抗器、各種混成集積回路他

〈主な取引先〉 松下電器産業(株)、日立製作所、東芝、三洋電機(株)、京セラ(株)、日本電気(株)、富士通(株)、三菱電機(株)、ソニー(株)他

当社の会長さんは、ご存知のように、県経営者協会長、



製造ライン

伊那テクノバレー推進協議会会長をされており、伊那谷工業の発展にご尽力をいただいている方です。

経営方針には「信頼」を掲げ人を信頼し、製品を信頼するという基本をモットーにつくられる製品は、ラジカセから人工衛星まで幅広く使用され、各方面より信頼されています。

阿智工場は従業員の半数が村内居住者で、平均年齢は36才と若く、また年間の勤務スケジュールが決められており、年間休みが108日と多く、日本人の働きすぎが話題になっている昨今、うらやましい限りです。

当村の進出には、会長の「農工一体論」で、農業をしながら会社に勤められるという発想で誘致され、2直3交替制を敷き、出勤率も96%以上という成績をおさめています。

会長さんは、行政と地域住民と企業が一体となって自然環境の良い伊那谷づくりをしていきたいそうです。

最後に、昨年900坪の工場・駐車場増設を行ない、その折に行政並びに地域住民の方々に大変お世話になりましたので、よろしくお伝え下さいとの事でした。

商工会の思い出事業

No. 5

★商工会の思い出事業を連載でお届けいたします。第1回は昭和36年9月6日から9月8日まで行なわれた会員親睦旅行(渥美半島から三谷温泉の旅)の記録を何回かに分けて連載いたします。(昭和36年9月30日付、信州日報より転載)

渥美半島から三谷へ

文・駒場山人
写真・阿智商工会写真部

◇三谷温泉にて

「菊富士別館」は、飯田市の「菊富士旅館」の別館である。飯田と関係のある旅館だから、玄関にも、広間にも、至るところに、亀割隆画伯の絵が飾られている。

亀割画伯は、阿南下条の出身で日展特選画家として有名だ。

片桐白登画伯の絵も見えて、まるで飯田の旅館にいるような心安さを覚える。三階の大広間の舞台のどん帳は、「喜久水」とあっては、いよいよだ。

浴場は階下の海に面したところにある。一風呂浴びて浴衣に着替えて、各自部屋で茶を飲んだり、一杯傾けている。午後五時、大宴会が始まる。持参の喜久水と婦人連はぶどう酒とジュースで、忽ち



宴会の真最中

一座は賑やかになる。舞台上で早速伊那節踊りがはじまり、続いて大黒屋老女史の「黒田節」が拍手を浴びる。例によって例の通り、沢屋さんのレスリングがあり、危く大事なところを公開しそうなうって満座の爆笑を買う。

婦人連の前へキチンと座り込んでしまった豪傑もある。そのうち、扇屋さんの斡旋で、熊谷組からビールの寄贈があり、満を引いて、ますます宴はたけなわとなった。旅館のサービス振りも満点で、宿泊料も大勉強ときたからみんな落ち着いたわけだ。

夕食が済むと、めいめい外出。パチンコ組、一杯組、それぞれ志すところへ出かける。すっかり酔い潰れ、旅館のジーンズカン部屋の砂利の上で伸びてしまっているのを部屋へ運び込まれたが、翌朝までそれを知らなかったという人もあるし、玄関脇で太い毛ズネを出したまま潰れていて、散歩から帰ってきた人々に狸の尻っぽではないかと吃驚された豪傑もあり、婦人室へねばって忝くヒジ鉄を食い「はつきりしとら」と威張った人やら、相当話題を賑わしたが、一本五百円のビールを飲んで馬を付けて帰ったような人もなく、とに角無事円満に一夜を過ごした。

翌八日は午前八時出発というので、ゆっくり時間をとる。旅館の二階、三階から下方に眺められる三河湾の左方には蒲郡の大島、竹島が手にとるごとく海上に浮び、朝モヤの中で、絵のように静かで美しい。

裏庭へ出て婦人連を相手にしきりにシャッターを切るカメラマンや、ハミリであらぬ姿を探がし求めている現金屋さんが盛んに活動する。

浴場の窓外からそっとカメラをのぞかせて、婦人連のストリップ姿を盗撮りし悦に入っている人もある。そこへ割り込んで行って、大事な一物を出しているところをパチリとやられた老男性達があったことが、後になって写真で判明し、人气的になった一幕もあった。

(次号へつづく)

信金だより

大きく翔んでほしい!!

教育資金は、しんきんの「進学ローン」で。入学金、授業料、施設費等の学校納付金を、しんきんが一切お引き受けいたします。

- ・ご融資限度二百万円。(一名百万円が目安)
- ・返済期間 修業年限に最長四年を加える。
- ・その他くわしくは、しんきんへ。

夢はでっかいぞお!

教育資金のご準備に、今から、しんきんの進学積立「大志」でどうぞ。大学の初年度納入金は、私立の理科系で約百万円が最低必要といわれます。

◎百万円コース

- ・期間五年
毎月掛金一五〇〇〇円
(初回のみ三二〇〇〇円)
 - ・期間四年
毎月掛金一九五〇〇円
(初回のみ一七〇〇〇円)
 - ・期間三年
毎月掛金二六〇〇〇円
(初回のみ三八三〇〇円)
- 他にもいろいろなコースがあります。

下条村婦人部 と交流会

一月二十三日、下条村商工会館において、下条村、阿智村双方の商工会婦人部合同研修会を行いました。この合同研修会も今年で三回目をむかえ、阿智村からは二十五名が参加しました。

研修会では、泰阜村出身で現在飯田市で法律事務所を開業されている長谷川敬子弁護士を講師に、「日常生活と法律」について講演をお聞きしました。「印鑑の知識」、「保証人の責任」、「クレジット契約について」、「サラ金について」等、身近かな問題についてのお話に、後に質問も出され、熱心に研修できました。

次に、会場をしらさぎ荘に移し、意見交換を行ないました。「婦人部の活動状況と今後のあり方について」というテーマで、初めに、各部長から、それぞれの活動状況、行事予定等の報告があり、その後活発に意見が出されました。又、新年会を兼ねた懇親会の席では、双方役員による歌や踊りの披露もあり、大変良い交流会でした。



決算・確定申告

はお早目に！

決算・確定申告の時期がや

最近における貿易摩擦の激化や円相場の急騰によるための「為替変動緊急対策資金」が、県金融の特別補完措置として次のよう制定されました。

対象者：輸出製品
関連製造業（下
請企業含む）中
小企業者で、そ
の輸出高が総売
上高に占める割
合が、過去一年
間において一〇
〇分の二〇以上
の者。

貸付限度：三、〇

〇〇万円以内

貸付利率：一年六パーセント

貸付期間：五年（一年以内の

据置期間を含む）

資金利用で経営安定を！

って来ました。毎年この事とは言いながら、頭の痛い時期です。しかし、国民の義務として必要不可欠な事ですので、早くするのも遅くするのも同じなら早く申告をして身軽になりましょう。ご自分で、決算・確定申告が出来ない方の為に、商工会ではお手伝いしておりますので、お気軽にご相談下さい。とくに、この時期は商工会でも一番忙しい時なので、お

保証人：二人以上
（担保は必要に応じで徴する）
取扱期間：三月三十一日までの運転資金です。

尚その他経営上必要な設備資金・運転資金の相談にも応じております。細かい内容については配布してあります「ビジネスノート」を参考の上、商工会事務局まで相談下さい。

次表は、商工会の四月から一月三十一日までの回転状況です。

資金回転状況

(1月31日現在)

資金名	幹旋	運転資金		設備資金		計	
		件数	金額(万円)	件数	金額(万円)	件数	金額(万円)
国民金融公庫	㊦	2	220	1	100	3	320
	㊧	2	600	3	1,150	5	1,750
	計	4	820	4	1,250	8	2,070
商工貯蓄共済融資		13	2,090	15	2,465	28	4,555
阿智村 商工資金	㊨	-	-	9	2,980	9	2,980
	㊩	8	1,275	2	150	10	1,425
	計	8	1,275	11	3,130	19	4,405
県制度資金他		2	797	3	1,143	5	1,940
合計		27	4,982	33	7,988	60	12,970

お知らせ！

早目（二月中を目途）にご相談下さい。
☆ 決算・確定申告の受付
二月十七日～三月十五日
盟和産業（株）の社長さんが、赤尾武男氏から前澤一夫氏に六十年七月十五日をもって変わられましたのでお知らせします。

編集後記

▽ 前号の発刊時に、一面の雪景色では、と予想を書いたが、見事に外れて雪の少ない寒い冬が続いている。

▽ 寒いと言え、進行する円高、貿易摩擦で先き行きの景気が心配されるが、五月頃にかけて中小零細企業が受ける影響が懸念される。大したことが無ければ良いが。

▽ 中央道園原インター設置が決まった。朗報と言えは朗報だが、実現へ向けて、これからが正念場だ。

全国には、設置が認められたものの未着工のインターが二百ヶ所もある。しかも、億単位の地元負担金問題が大変だ。

財政力の弱い村としては、県の大きな助力を求めなければ乗りきれない。村を挙げて、県に働きかけなければならぬ。

▽ 黒柳村長が無投票で改選された。心からお祝いを申し上げたい。

今後、四年間の村政を担当されるわけだが、一つ黒柳色を鮮明に打ち出して、清新で活力のある村政を推進してほしい。

(編集委員長 渥美貞己記)